

食の安全安心・食育推進計画の 具体的取り組み事業内容

第3章 食の安全・安心の確保

平成25年5月27日

< 判定 >

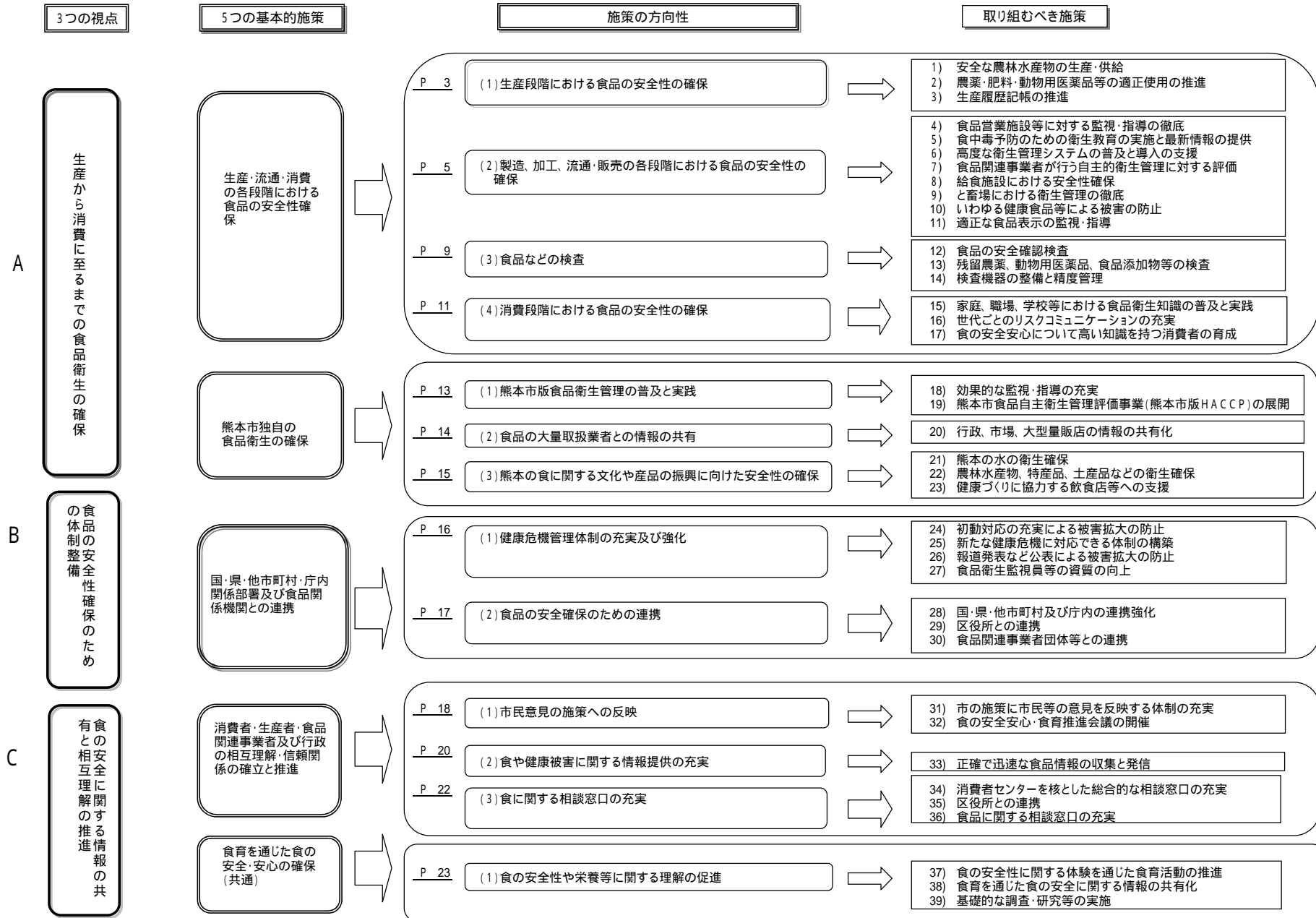
達成

継続展開中で目標未達成

まだ取り組みをしていない

× 取り組み中止

第3章 「食の安全・安心の確保」に関する施策の体系



第3章 食の安全・安心の確保 (成果指標)

項 目		H24年	30年 目標
食の安全性・安心感に関する指標	「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%	50%
	「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%	50%
	「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	51.6%	40%
	「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%	50%
	食について安全性が高まっていると感じている市民の割合	-	50%

市民の意識行動に関する指標	食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	8.9%	15%
	食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合	40.2%	55%
	食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合	-	75%
	食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.6%	60%

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

- 1) 生産段階における食品の安全性の確保
 - 安全に配慮した農林水産物づくり -

【成果指標】

	H24(基準)			H30(目標)
「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%			50%

【取り組むべき施策】

- 1) 安全な農林水産物の生産・供給
- 2) 農薬・肥料・動物用医薬品等の適正使用の推進
- 3) 生産履歴記帳の推進



【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標	H25 業務内容等	備考	
食品の安全安心対策検査	食品保健課 環境総合センター	残留農薬の検査	のべ 残留農薬 検査数 (検体/項目 数)	70検体 214項目					のべ 480検体 /6年 (最大 250 項目)		年度ごとに策定する「熊本市食品衛生監視指導計画」により実施。 国産/輸入 野菜・果実 80検体/年 輸入 冷凍野菜 6検体/年 を予定	
食肉中の残留有害物質対策	食肉衛生検査所 環境総合センター	残留有害物質モニタリング検査 (残留農薬等のポジティブリスト制への対応)	モニタリング検査数 (検体/項目数)	160検体 12項目					160検体 20項目		160検体/年 (12項目) を予定	(H26年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定)
安全安心のもてる高品質な農林水産物の生産指導と消費拡大	農商工連携推進課 各区役所 農業振興課	農薬・動物用医薬品等の適正使用の推進やトレーサビリティ導入へ向けた生産履歴の記帳の推進	-	年間を通して実施					年間を通して実施		県・市・JAとの連携による農薬動物医薬品等の適正使用の啓発 エコファーマーやトレーサビリティ導入へ向けた生産者の意識の向上を図った。	
水産物の安定提供及び安全性の確保	水産振興センター	-	-	異物除去機導入率 100%					継続実施		機器の導入は100%に達したものの、機器のメンテや感度の調整など運用面について改善すべきところが見受けられたため、各種の会合を活用して指導・啓発を図っていく。	
農産物直販所協議会による各種研究会やイベントの開催	農商工連携推進課 各区役所 農業振興課	熊本市農産物直販所協議会による研修会、合同イベント開催	直販所の売上額 (百万円)	996					継続実施		・びぶれす広場での熊本市産農産物合同販売会の開催 ・その他各種イベントへ出展	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価 指数	評価指標等					進捗状況等				
				H24 実績					H30 目標			H25 業務内容等	備考
家畜防疫確 立対策事業	各区役所 農 業振興課	家畜予防接種実施に 対する助成	のべ実施頭 数 (頭)	3,885					継続 実施			家畜予防接種実施に対する助成	

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

2) 製造、加工、流通・販売の各段階における食品の安全性の確保

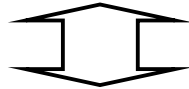
～食品添加物や不正表示など食品に対する不信解消をめざして～

【成果指標】

	H24(基準)				H30(目標)
「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%				50%
「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	51.6%				40%
「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%				50%

【取り組むべき施策】

- 4) 食品営業施設等に対する監視・指導の徹底
- 5) 食中毒予防のための衛生教育の実施と最新情報の提供
- 6) 高度な衛生管理システムの普及と導入の支援
- 7) 食品関連事業者が行う自主的衛生管理に対する評価
- 8) 給食施設における安全性確保
- 9) と畜場における衛生管理の徹底
- 10) いわゆる健康食品等による被害の防止
- 11) 適正な食品表示の監視・指導



【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指標	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標		H25 業務内容等	備考
熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導	食品保健課	熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導及び飲料水の衛生確保	監視ポイント数	23,859					年度ごとに策定		対象施設数; 14,670 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、監視ポイント数; 22,000ポイント	
出前教室・講座・講習会等による衛生教育や情報提供	食品保健課	行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に出向き講座や教室を開催	のべ受講者数(人)	8,119					のべ60,000人/6年		市民の食品衛生知識の啓発や食品営業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等の開催を実施する。	
HACCPやトレーサビリティの考え方に基づく衛生管理手法の普及・啓発	食品保健課	自主評価基準の設定、HACCPの概念を取入れた施設の養成、認証施設の検証	-	継続実施					-		継続実施	
衛生功労者及び優良衛生施設等の表彰などによる評価	食品保健課	市長表彰等を通じ、衛生意識の向上を図る	開催数(回)	1					1回/年		継続実施	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指標	評価指標等					進捗状況等				
				H24実績					H30目標			H25 業務内容等	備考
栄養管理、調理師研修会(衛生教育)の開催	食品保健課	栄養管理、調理師研修会開催(食中毒予防、栄養管理)	のべ受講者数(人)	729					のべ4,200人/6年			毎年度、 調理師研修会 1回 栄養管理研修会 2回 合同研修会 1回 を実施予定	
給食施設に対する安全対策の啓発	食品保健課	給食調理従事者に対し、食品の衛生的な取扱いに関する知識の普及啓発。給食施設・設備の衛生確保を通して食中毒の発生予防	監視ポイント数	40.1%(監視率)					年度ごとに策定			給食施設 立入予定数 236施設 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、監視ポイント数; 1,000ポイント	
検便時の指導	感染症対策課	学校、保育所等における検便後の衛生指導	-	0件					随時			学校、保育所等における検便後の衛生指導	
衛生管理研修会	健康教育課	給食調理職員等を対象とした衛生管理研修会	開催数(回)	8月1日実施					1回/年			学校給食関係職員(民間委託先の調理員等も含)約850人を対象に学校給食の衛生管理について研修会を実施	
給食物資選定委員会の開催	健康教育課	学校給食用物資の品質・味・内容分析を確認	-	実施					継続実施			給食用物資の品質・味・内容の検討および使用品の決定	
給食青果物査定会の開催	健康教育課	学校給食で使用する農産物の品質等を確認	-	実施					継続実施			給食用農産物の品質の検討および使用品の決定	
小学校給食施設整備(ドライ化)	健康教育課	全給食室のドライ化(小学校)	改修施設数	25施設					37施設			分離新設校建設および給食室新設を行う(力合西、飽田西)	
中学校共同調理場施設整備(ドライ化)	健康教育課	全共同調理場のドライ化(中学校・共同調理場)	改修施設数	11施設					-			日吉共同調理場のドライ改修を実施	
物資納入業者の衛生管理状況確認	保育幼稚園課 食品保健課	食品衛生監視票の提出	-	継続実施					随時			納入業者の食品衛生監視票や配達状況報告書の提出	
食の安全に関する情報交換	保育幼稚園課	園児・職員の健康管理の徹底	-	継続実施					随時			継続実施	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指標	評価指標等						進捗状況等			
				H24実績					H30目標			H25 業務内容等	備考
保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生研修会の開催	保育幼稚園課	保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生の研修会の開催	研修会参加園数	公立 23園中 22園 私立 130園中 105園 認可外 96施設 中16施設					公立 23園中 23園 私立 130園中 105園 認可外 88施設 中25施設			開催予定 平成25年6月25日(火) ウェルパルクまもと 1階大会議室	
枝肉の衛生対策	食肉衛生検査所	枝肉の微生物汚染を防ぎ、食肉の衛生を確保する	-	継続実施					継続実施			と畜場の衛生管理及びとさつ解体時の衛生管理について監視指導を行う。	(H26年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定)
全ての牛、馬、豚について1頭ごとの厳密なと畜検査	食肉衛生検査所	と畜場法に基づき、消費者に安全な食肉を提供する	-	継続実施					継続実施			全ての牛、馬、豚について1頭ごとの厳密なと畜検査を行う。	(H26年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定)
食肉中の残留有害物質対策	食肉衛生検査所 環境総合センター	[再掲 -1] 残留有害物質モニタリング検査 (残留農薬等のポジティブリスト制への対応)	モニタリング検査数 (検体/項目数)	160検体 12項目					160検体 20項目			160検体/年 (12項目) を予定	(H26年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定)

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指標	評価指標等						進捗状況等			
				H24実績					H30目標			H25 業務内容等	備考
薬局、医薬品販売業の店舗立入り検査	医療政策課	薬局、医薬品販売業及び毒物劇物販売業への立入り検査	立入検査施設数	103					100			定期の立入検査と、開設者変更等による新規調査において、健康食品の広告について監視指導を行う。	
食に関するホームページへの情報掲載	健康づくり推進課 食品保健課	食品に関わる正しく役立つ情報を提供	情報掲載数(回)	140					12回/年以上			継続実施	
熊本市食品衛生監視指導計画に基づく市内流通食品の収去検査	食品保健課 環境総合センター	不良食品を排除し、安全な食品の製造・流通の確保	のべ収去検査件数(検体)	385					のべ2,400検体/6年			収去検査は、年度ごとに策定する「熊本市食品衛生監視指導計画」により実施。 ・食品中の添加物・残留農薬・放射能・細菌等の検査 H25 収去検査予定数；470検体	

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

3) 食品などの検査

～安全な食生活を見守るための施策～

【成果指標】

	H24(基準)			H30(目標)
「残留農薬」について不安を感じる市民の割合(再掲)	55.7%			50%
「食品添加物」について不安を感じる市民の割合(再掲)	63.3%			50%
「輸入食品」について不安を感じる市民の割合(再掲)	65.2%			50%

【取り組むべき施策】

- 12) 食品の安全確認検査
- 13) 残留農薬、動物用医薬品、食品添加物等の検査
- 14) 検査機器の整備と精度管理

【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等						進捗状況等		
				H24実績					H30目標	H25 業務内容等	備考	
食肉中の残留有害物質対策	食肉衛生検査所 環境総合センター	【再掲 -1】 残留有害物質モニタリング検査 (残留農薬等のポジティブリスト制への対応)	モニタリング検査数 (検体/項目数)	160検体 12項目					160検体 20項目		160検体/年 (12項目) を予定	(H26年度から食肉センターのと畜機能移転により事業中止予定)
熊本市食品衛生監視指導計画に基づく市内流通食品の収去検査	食品保健課 環境総合センター	【再掲 -2】 不良食品を排除し、安全な食品の製造・流通の確保	のべ収去検査件数 (検体)	385					のべ2,400検体 /6年		収去検査は、年度ごとに策定する「熊本市食品衛生監視指導計画」により実施。 ・食品中の添加物・残留農薬・放射能・細菌等の検査 H25 収去検査予定数; 470検体	
熊本地方卸売市場食品衛生監視所におけるスクリーニング検査	食品保健課	市場の流通食品のスクリーニング検査	のべ残留農薬検査数 (検体/項目数)	64検体					のべ480検体 /6年		収去品目と同検体を検査実施。 コリンエステラーゼ活性阻害農薬(38項目)検出可能	
食材検査	健康教育課 環境総合センター	学校給食に使用する食材等の微生物及び理化学検査	-	96検体 138項目					継続実施		継続実施	
給食用物資の試験検査	保育幼稚園課 環境総合センター	保育所給食に使用する原材料の微生物検査	-	年1回 (6検体/11項目)					年1回		継続実施	
食品の安全安心対策検査	食品保健課 環境総合センター	【再掲 -1】 残留農薬の検査	のべ残留農薬検査数 (検体/項目数)	70検体 214項目					のべ480検体 /6年 (最大250項目)		年度ごとに策定する「熊本市食品衛生監視指導計画」により実施。 国産/輸入 野菜・果実 80検体/年 輸入 冷凍野菜 6検体/年 を予定	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等				
				H24実績					H30目標			H25 業務内容等	備考
分析精度管理	環境総合センター	外部精度管理、検査機器の保守点検、検査用試薬の管理、検査技術研修	外部精度管理	6回/年					6回/年			理化学：食品添加物検査 食品添加物検査 残留動物用医薬品検査 微生物：一般細菌数測定検査 黄色ブドウ球菌検査 E.coli検査	

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

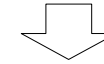
4)消費段階における食品の安全性の確保
 ~ 食の安全安心について高い知識を持つ消費者の育成 ~

【成果指標】

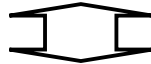
	H24(基準)			H30(目標)
「残留農薬」について不安を感じる市民の割合(再掲)	55.7%			50%
「食品添加物」について不安を感じる市民の割合(再掲)	63.3%			50%
「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合(再掲)	51.6%			40%
「輸入食品」について不安を感じる市民の割合(再掲)	65.2%			50%
食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	8.9%			15%
食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合	40.2%			55%

【取り組むべき施策】

15) 家庭、職場、学校等における食品衛生知識の普及と実践 16) 世代ごとのリスクコミュニケーションの充実 17) 食の安全安心について高い知識を持つ消費者の育成
--



【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績				H30目標	H25 業務内容等	備考		
食に関するホームページへの情報掲載	健康づくり推進課 食品保健課	【再掲 -2】 食品に関わる正しく役立つ情報を提供	情報掲載数	140					12回/年以上		継続実施	
食中毒予防ポスターコンクール	食品保健課	食中毒予防ポスターコンクールによる衛生意識の向上	開催回数	1回/年					1回/年		(第14回 予定) 募集期間; H25年6月3日 ~ 21日 募集対象; 熊本市内の小学生 表彰式; 8月1日(木)	
食の安全安心体験事業	食品保健課	(田崎市場体験)小学生以上の親子をはじめとする消費者や食品衛生監視員養+F20成施設の大学生を対象に、田崎市場における食品の取り扱いと食品の検査を体験する。	のべ参加人数(人)	84					のべ600人/6年		大学生対象: 平成24年7月下旬 60名 親子等対象: 平成24年8月上旬 60名 を予定 場所: 熊本地方卸売市場内関連施設	
		(一日食品衛生監視員体験)市民や短大生等を対象に、施設の見学や食品表示の見方等の衛生教育を行う。		32					のべ270人/6年		平成25年8月上旬 実施予定 対象: 小学生を対象とした親子40名程度 場所: 熊本県立熊本農業高校 実習棟	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等				
				H24実績					H30目標			H25 業務内容等	備考
食品衛生教育講座	食品保健課	食の安全安心に関するフォローアップ講座等を開催	のべ受講者数(人)	-					のべ600人/6年			若年層の市民を対象に食品衛生教育を繰り返し行うことにより、知識を根付かせ、食の安心安全の確保をすることを目的に、食の安全安心体験事業参加者等を対象にフォローアップ講座等を開催します。	
出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供	食品保健課	【再掲 -2】行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に出向き講座や教室を開催	のべ受講者数(人)	8,119					のべ60,000人/6年			市民の食品衛生知識の啓発や食品業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等の開催を実施する。	
消費者団体連絡会支援	商工振興課 消費者センター	消費者団体が実施・参加する食の安全安心活動への支援	-	説明会・セミナー参加					継続実施			・熊本県主催「地産地消のつどい」「食の安全セミナー」「食の安全安心の集い～農業を知ろう～」 「食品中の放射性物質対策に関する説明会」参加 ・九州農政局主催「野菜・果物消費拡大セミナー」参加	
生活衛生推進員制度	生活衛生課	生活衛生推進員による生活衛生全般にわたる学習及び実践	推進員数	87人/年 (185人/3年) 3回/年					50人/年 5回/年			市民対象のセミナー等を活用し、参加された市民に生活衛生推進員への登録を呼びかける。	

熊本市独自の食品衛生の確保

1)熊本市版食品衛生管理の普及と実践
 ~ 熊本の実情を踏まえた食品衛生管理の仕組みづくり ~

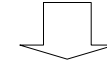
【成果指標】

	H24(基準)				H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合	-				50%

【取り組むべき施策】

18) 効果的な監視・指導の充実 19) 熊本市食品自主衛生管理評価事業(熊本市版HACCP)の展開

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標	H25 業務内容等	備考	
熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導	食品保健課	【再掲 -2】 食品・施設のリスクの検証と効果的な監視・指導への反映	監視ポイント数	23,859					年度ごとに策定		対象施設数; 14,670 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、 監視ポイント数; 22,000ポイント	
熊本市食品自主衛生管理評価制度(熊本市版HACCP)の展開	食品保健課	自主評価基準の設定、HACCPの概念を取り入れた施設の養成、認証施設の検証	のべ取り組み施設数	16施設					のべ60施設		引き続き、工業団地や大量調理施設を中心に取り組み支援を実施する	
			うち、のべ認証施設数	15施設					のべ30施設		引き続き、積極的な取り組み支援を実施する	
熊本市模範的自主管理実施食品等事業者紹介事業【仮称】	食品保健課	食品等事業者の取組内容等をホームページ等で紹介	のべ紹介施設数	-					のべ100施設		他の食品等事業者の模範となる自主衛生管理を実施している食品等事業者の取組内容等をホームページ等で紹介し、食品等事業者全体の衛生レベルの向上を図るとともに、消費者の食に対する安心に寄与します。	

熊本市独自の食品衛生の確保

2) 食品の大量取扱業者との情報の共有
 ~ 情報の共有による食品の安全性の確保 ~

【成果指標】

	H24(基準)				H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲)	-				50%

【取り組むべき施策】

20) 行政、市場、大型量販店の情報の共有化



【具体的な取り組み(行政)】

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等				
				H24実績					H30目標		H25 業務内容等	備考	
食品安全情報ネットワーク	食品保健課	大型量販店等の食品等事業者とのネットワークを活用した情報提供と衛生意識の高揚	情報提供(回数)	33回					24回/年以上			継続実施	

熊本市独自の食品衛生の確保

3) 熊本の食に関する文化や産品の振興に向けた安全性の確保
 - 安全と信頼性の確保によるイメージ向上支援 -

【成果指標】

	H24(基準)				H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲)	-				50%

【取り組むべき施策】

- 21) 熊本の水の衛生確保
- 22) 農林水産物、特産品、土産品などの衛生確保
- 23) 健康づくりに協力する飲食店等への支援

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標	H25 業務内容等	備考	
熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導	食品保健課	【再掲 -2】 熊本から全国に発信または流通する食品や飲料水の衛生確保及び宿泊施設、飲食店等の衛生確保	監視ポイント数	23,859					年度ごとに策定		対象施設数; 14,670 目標は、「H25年度熊本市熊本市食品衛生監視指導計画」により、監視ポイント数; 22,000ポイント	
健康くまもと21(健康づくりできます店)	健康づくり推進課 食品保健課	地産地消、栄養成分表示など健康づくりに積極的に取り組む飲食店等の認知と市民への周知を図る。	登録店舗数	107					200店舗		継続実施	
水質監視	水保全課	地下水質の監視	監視率	100%					100%		水質汚濁防止法に基づく地下水の水質の常時監視	

国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

1) 健康危機管理体制の充実及び強化
 ~ 初動対応の充実と被害拡大防止 ~

【成果指標】

	H24(基準)			H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲)	-			50%

【取り組むべき施策】

- 24) 初動対応の充実による被害拡大の防止
- 25) 新たな健康危機に対応できる体制の構築
- 26) 報道発表など公表による被害拡大の防止
- 27) 食品衛生監視員等の資質の向上

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績				H30目標	H25業務内容等	備考		
健康危機管理研修会の開催	医療政策課	健康危機管理研修会の開催	開催数(回)	5				1回/年			< 研修会概要 > 食中毒予防講演会(食品保健課) 新型インフルエンザ対策研修会(感染症対策課) 食品衛生検査技術研修会(環境総合センター) 健康危機管理訓練 保健所新任者研修会	
食品衛生監視員等の資質向上に係る研修	食品保健課	食品衛生に係る人材の養成及び資質の向上のための研修を実施	開催数(回)	24				12回/年以上			継続実施	
食中毒、苦情発生時の迅速な原因究明	環境総合センター 食品保健課	健康被害拡大防止のため、迅速な原因究明を行う	-	200検体 3,420項目				随時			継続実施	
食中毒などの健康被害発生時の迅速な報道発表	医療政策課 食品保健課 感染症対策課	迅速な報道発表による健康被害拡大防止	-	18件				随時			継続実施	

国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

2) 食品の安全確保のための連携
 ~ 食品流通の広域化・多様化等への備え ~

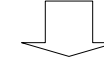
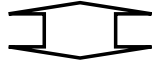
【成果指標】

	H24(基準)				H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲)	-				50%

【取り組むべき施策】

28) 国・県・他市町村及び庁内の連携強化 29) 区役所との連携 30) 食品関連事業者団体等との連携
--

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標		H25 業務内容等	備考
国・県・他市町村との連携強化	食品保健課	食品の安全性確保の役割を担う国・県・他市町村との連携	-	随時					随時		国・県主催の会議等に随時参加	
食の安全安心・食育庁内連絡会の開催	関係各課	市役所内での、情報の共有化	開催数(回)	2					2回/年		推進会議開催に向けた庁内調整のため、例年通り2回/年を予定。 必要に応じ、対応検討のために「ワーキンググループ」会議を開催する。	
健康危機管理連絡会の開催	医療政策課	健康危機管理連絡会議の開催	開催数(回)	1					1回/年		連絡会議は、例年通り1回を予定している。 緊急な対応が必要となった場合は、臨時開催、及び幹事会で対応する。	
熊本市食品衛生協会との連携・協働	食品保健課	食品衛生責任者の養成講習会などを実施し、食品衛生の向上を図る	-	7回					随時		毎年度、 食品衛生責任者養成講習会 5回/年 食品衛生責任者実務講習会 2回/年 を予定	
迅速で正確な検査技術の研究	環境総合センター	健康被害拡大防止のため、迅速で正確な原因究明を行う	-	新興・輸入感染症検査法の確立(チクングニヤ熱)					未知物質の検出演習(ウエストナイル熱・インフルエンザH7型検査法の確立)		健康危機管理体制の強化(A/H7N9インフルエンザ・FSTSウイルス)	

【具体的な取り組み(関係団体)】

名称	関係団体	内容
・食品衛生指導員事業 ・食品衛生普及事業	熊本市食品衛生協会	食品衛生指導員による施設の巡回指導 食品衛生月間(8月)熊本市が主催する食品衛生月間に協賛する。 「くまもと市食品衛生協会新聞」(機関誌)を四半期毎に発行し、衛生知識の普及を図る。

消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

1) 市民意見の施策への反映

～お互いの顔が見える関係づくり～

【成果指標】

	H24(基準)			H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲)	-			50%

【取り組むべき施策】

- 31) 市の施策に市民等の意見を反映する体制の充実
32) 食の安全安心・食育推進会議の開催

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標		H25 業務内容等	備考
食品衛生監視指導計画に関する市民からの意見聴取	食品保健課	食の安全安心ホームページ等を活用した意見聴取と市民意見の反映	-	実施					実施		継続実施	
生産者・流通機関との情報交換	健康教育課	栽培方法、農薬等の情報交換	-	実施					-		継続実施	
農産物フェアの開催	農商工連携推進課 各区役所 農業振興課	展示即売と消費者との触れ合いに努める	-	実行委員会による開催					継続実施		市産農産物のPR・消費拡大を図るため、販売会を実施。安全・安心をアピールするとともにふれあいの場の創出を図る。	
出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供	食品保健課	【再掲 -2】行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に外向き講座や教室を開催	のべ受講者数(人)	8,119					のべ60,000人/6年		市民の食品衛生知識の啓発や食品業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等の開催を実施する。	
消費者代表としての各種委員への就任	商工振興課 消費者センター	消費者の立場からの意見を行政の施策等に反映する	-	委員就任、会議への出席					継続実施		・「くまもと食の安全・安心県民会議」構成団体 ・熊本県・九州農政局・JA等主催の各種委員会・会議出席 ・九州農政局「農林水産情報交流モニター交流会及び顔が見える関係づくり」参加	
食の安全安心・食育推進会議の開催	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況や市民意見の反映	開催数(回)	6					2回/年		毎年度、2回/年を予定	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価 指数	評価指標等					進捗状況等				
				H24 実績					H30 目標			H25 業務内容等	備考
熊本市模範的 自主管理実施 食品等事業者 紹介事業【仮 称】	食品保健課	【再掲 -1】 食品等事業者の取組 内容等をホームページ 等で紹介	のべ紹介 施設数	-					のべ 100施設			他の食品等事業者の模範となる自主衛生管理を 実施している食品等事業者の取組内容等をホー ムページ等で紹介し、食品等事業者全体の衛生 レベルの向上を図るとともに、消費者の食に対す る安心に寄与します。	

消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

2) 食や健康被害に関する情報提供の充実

～ 正確な情報が確実に届く環境づくり～

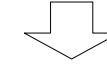
【成果指標】

	H24(基準)			H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲)	-			50%
食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合	-			75%

【取り組むべき施策】

⇒	33) 正確で迅速な食品情報の収集と発信
---	----------------------

【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標	H25 業務内容等	備考	
市政だより、マスメディアを活用した情報の提供	食品保健課	食品に関わる正しく役立つ情報を提供	-	24回					随時		継続実施	
食に関するホームページへの情報掲載	健康づくり推進課 食品保健課	【再掲 -2】 食品に関わる正しく役立つ情報を提供	情報掲載数(回)	140					12回/年以上		継続実施	
感染症に関する情報提供	感染症対策課	熊本市感染症情報センターホームページに最新動向を掲載	-	随時					-		熊本市感染症情報センターホームページに、流行している感染症や、インフルエンザ、感染性胃腸炎等の感染症疾病に関して、患者発生状況や予防法等の情報提供を行う。	
出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供	食品保健課	【再掲 -2】 行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に出向き講座や教室を開催	のべ受講者数(人)	8,119					のべ60,000人/6年		市民の食品衛生知識の啓発や食品業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等の開催を実施する。	
ノロウイルス食中毒注意報の発令	食品保健課	食中毒注意報を熊本市全域に発令し、ノロウイルス食中毒の注意喚起をおこなう。	-	H24年11月21日					必要時		継続実施	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価 指数	評価指標等					進捗状況等				
				H24 実績					H30 目標			H25 業務内容等	備考
食品安全情報 ネットワーク	食品保健課	【再掲 -2】 大型量販店等の食品 等事業者とのネット ワークを活用した情 報提供と衛生意識の 高揚	情報提供 (回数)	33回					24回/年 以上			継続実施	

消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

3) 食に関する相談窓口の充実
 ~ 正確な情報が確実に届く環境づくり ~

【成果指標】

	H24(基準)				H30(目標)
食品について安全性が高まっていると感じている市民の割合(再掲)	-				50%

【取り組むべき施策】

34) 消費者センターを核とした総合的な相談窓口の充実 35) 区役所との連携 36) 食品に関する相談窓口の充実



【具体的な取り組み(行政)】

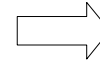
取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指標等						進捗状況等			
			評価指数	H24実績				H30目標	H25 業務内容等	備考		
消費者生活相談	商工振興課 消費者センター	食に関する正しい情報提供を通して、自立した消費者を育成する。	-	食に関する相談件数 312件					継続実施		消費生活に関する相談の一部として相談を引き続き行う。	
食の安全安心に関する相談	食品保健課	食の安全安心に関する相談を受け、正しい情報を提供するとともに、食品等に関する苦情の原因等の調査を実施	苦情受付件数	231					随時		食品業者や市民等からの相談に随時対応。	

食育を通じた食の安全安心の確保

1) 食の安全性や栄養等に関する理解の促進
 ~ 安心して食生活を送るための食育 ~

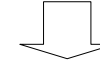
【成果指標】

	H24(基準)			H30(目標)
食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.6%			60%



【取り組むべき施策】

- 37) 食の安全性に関する体験を通じた食育活動の推進
- 38) 食育を通じた食の安全に関する情報の共有化
- 39) 基礎的な調査・研究等の実施



【具体的な取り組み(行政)】



取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等			
				H24実績					H30目標		H25 業務内容等	備考
栄養管理、調理師研修会(衛生教育)の開催	食品保健課	【再掲 -2】 栄養管理、調理師研修会開催(食中毒予防、栄養管理)	のべ受講者数(人)	729					のべ4,200人/6年		毎年度、 調理師研修会 1回 栄養管理研修会 2回 合同研修会 1回 を実施予定	
出前教室・講座、講習会等による衛生教育や情報提供	食品保健課	【再掲 -2】 行政機関、教育機関等の職員が講師として地域に向き講座や教室を開催	のべ受講者数(人)	8,119					のべ60,000人/6年		市民の食品衛生知識の啓発や食品業者等の衛生意識向上のため様々な働きかけを行いながら講座等の開催を実施する。	
食の安全安心体験事業	食品保健課	【再掲 -4】 (田崎市場体験)小学生以上の親子をはじめとする消費者や食品衛生監視員養成施設の大学生を対象に、田崎市場における食品の取り扱いと食品の検査を体験する。	のべ参加人数(人)	84					のべ600人/6年		大学生対象：平成24年7月下旬 60名 親子等対象：平成24年8月上旬 60名 を予定 場所：熊本地方卸売市場内関連施設	
		【再掲 -4】 (一日食品衛生監視員体験)市民や短大生等を対象に、施設の見学や食品表示の見方等の衛生教育を行う。		32					のべ270人/6年		平成25年8月上旬 実施予定 対象：小学生を対象とした親子40名程度 場所：熊本県立熊本農業高校 実習棟	

取り組み名称	関係部署名	業務内容	評価指数	評価指標等					進捗状況等				
				H24実績					H30目標			H25 業務内容等	備考
国民健康・栄養調査事業	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	国民健康・栄養調査(年1回)、県民健康・栄養調査(5年に1回)により身体状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにする	-	3地区実施					継続実施			必要に応じ継続実施	
市民健康栄養調査	健康づくり推進課 各区役所保健子ども課	市民の健康状態の実態を把握する	実施回数	実施なし					1回/年			必要に応じ継続実施	

平成25年度 関係団体における具体的な取り組み

<第3章 食の安全・安心>

国・県・他市町村・庁内関係部署 及び食品関係機関との連携
 2) 食品の安全確保のための連携 ~ 食品流通の広域化・多様化等への備え ~

<今後の予定>

名称	関係団体	H25 取り組み内容	今後の予定
食品衛生指導員事業 食品衛生普及事業	熊本市食品衛生協会	食品衛生指導員による施設の巡回指導 食品衛生月間(8月1日~8月31日) ・熊本市が主催する食中毒予防ポスターコンクールの後援、啓発リーフレットの作成配布、シティFM、スポット広報など ・機関紙の発行(四季報)	継続実施
食品表示に関する監視及び調査	熊本県熊本農政事務所	適正な食品の品質表示を確保するため、生鮮食品及び加工食品の表示方法について、県内の小売店舗等を対象とした巡回調査・指導を行う。 直売所責任者及び農産加工品関係者研修会 熊本県食品表示監視協議会	熊本県食品表示監視協議会 1回 開催予定 未定

食育を通じた食の安全・安心の確保(共通)

1) 食の安全性や栄養等に関する理解の促進 ~ 安心して食生活を送るための食育 ~

<今後の予定>

名称	関係団体	H25 取り組み内容	今後の予定
食の安全安心確保に関する研修会	熊本市農産物直販所連絡協議会	総会時に、関係機関より、農薬の適正利用等の説明を行い、会員の「安心・安全」に対する意識向上を図る。その他、市内の直販所・市産農産物の認知度向上を図る。	食の安全安心確保に関する研修会への積極的な参加